

事業所名		放課後等デイサービス サニースマーケット				公表日	令和6年12月3日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		指導訓練室床面積目安10名定員24.7㎡のところ、55.2㎡を確保しています		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		人員基準に適した配置を行っています		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		トイレも含め車いす対応が出来るバリアフリー化をしています		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		指導訓練室の毎日の清掃と消毒を実施しています		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	指導訓練室は1部屋の構造となっており1場所のみカーテンで仕切ることが出来ますが、個別の部屋の用意することはできません	建物の申請上部屋を増やすことは出来ませんが、テントや仕切り、パーテーション等を活用して個別の空間が出来るように努めています	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		6か月に1回の個別支援計画のPDCA、月に1回の職員会議、ケース会議、週に1回の週間会議、毎日の日課の確認と振り返りの朝の支援会議を実施しています		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		昨年度の保護者様からの外部評価及び日々のご利用からの意見を活動に反映するように心がけています		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎日の日課の確認と振り返りの朝の支援会議の中で意見集約を行い業務改善につなげています		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	法人を含め第三者による外部表は現在実施されていません	第三者委員会は法人での対応となり放デイ独自では出来ないのが現状です。時期は決定していませんが、将来的には委員会を設立する意向です	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	法人内研修として年2回の法人合同研修会を実施しスタッフが参加しています。その他外部の研修会等にも積極的に派遣を行っています		
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		社会福祉法人三山黎明会ホームページに公開してあります		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		支援マニュアルに沿ってアセスメント、ニーズ分析等を行い常勤スタッフで個別支援計画の作成にあたり、非常勤スタッフへ周知させています		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		ケース会議において児発管と常勤スタッフにより各個人の個別支援計画の作成に携っており、本人の最善の利益を考慮した目標設定を行っています		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		ケース会議等において個々に応じた個別支援計画を作成し、その計画に沿って支援を実施しています		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	ケース記録等を中心に各個人のアセスメントをとっており日々の支援に活用しています		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		今年度より「健康・生活」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」「運動・感覚」の5領域に沿った個別支援計画を作成し支援にあたっています 5領域の活動の内容を具体的に説明をした「支援プログラム」を法人のホームページにて公開しており、この支援プログラムに沿った支援を行っています		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員会や週間会議において常勤スタッフ全員で立案し非常勤スタッフに周知させています		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		運動活動(粗大運動)、創作活動(微細運動)、チャレンジ活動の3つを柱に季節や天気、個々の状況に配慮しながらプログラムを立てています		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		ケース会議等において個々に応じた個別支援計画を作成し、その計画に沿って支援を実施しています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝の支援会議を毎日行い、その中で内容や役割分担等の確認をして支援にあたっています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		終了時に支援の振り返りを行います、時間内に終わらない場合は翌日の朝の支援会議を行っています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		毎日の日誌に活動での出来事を記載し、個々のケース記録に反映しています	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		通常は6か月に1回個別支援計画の見直しを行います。支援計画の内容が本人に適さなくなってきた場合はその都度会議を設け、支援計画の見直しを行います	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6		放課後等デイサービスガイドラインに則って支援を実施しています	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		定期的に選択活動を実施し、自己選択を行える機会を作っています	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者がサービス担当者会議等に参画しています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	5	専門的な医療ケアを必要とする利用者様が現在いないので実施していません	今後医療的ケアが必要なケースが発生した場合は各所との連携を図っていきます
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校というよりも保護者様より1週間の予定、月の予定等を提供され送迎等に反映しています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	保護者様からのニーズや事業所として必要と判断した場合は、各機関に適切な情報共有と相互理解に努めます	今年度初めてサービス担当者会議として相互理解の場を設けました
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	5	現在まで高校を卒業して事業所へ移行した利用者様1名のみでのケースでしたが実施されませんでした	保護者様からのニーズや事業所として必要と判断した場合は、各機関に適切な情報共有と相互理解に努めます
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5	児童発達支援センター主催の研修等があればなるべく参加をするようにしていますが、直接的な連携は図っていません	研修以外の連携を模索していきます
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	現在のところ積極的に他の関係機関との交流を行う予定はありません	以前は他放デイとの連携の話もありましたが、コロナを経て立ち消えになりました。今後は各所との連携を図っていきます
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	自立支援協議会こども部会主催の研修にスタッフが参加しています	今後も協議会の会議自体の参加の意向はありませんが、実施される研修には積極的に参加します
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		日々のお子様の活動報告は連絡表に記載し、送迎時にも本人の様子を報告させていただきます。またラインにおいて細かなお知らせも行っていきます	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	その都度アドバイス等は行っていますが、日を改めてのペアレントトレーニングといった具体的な研修等は行っていません	保護者からのニーズが高まれば外部から講師を招き実施することも可能かと思いますが、現状では実施の意向はありません
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に重要事項説明書とともに説明を行っています。利用者負担等契約時と変化が出た場合はその都度説明させていただきます	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		サービス担当者会議等でニーズの把握と本人にとって有益となる支援を考え、個別支援計画として提示しています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		個別支援計画作成時は保護者様に内容の説明をして了承を得てから本計画として支援にあたっています	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		保護者様より相談、問い合わせ等ありましたら、その都度必要な支援を行うよう心がけています	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	5	保護者様からも保護者会の開催を希望するニーズが出ていないため、現状では保護者会の開催は予定していません	保護者からのニーズがあがっていないため今後も保護者会等の計画をおこなう予定はありません
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		法人の苦情解決相談マニュアルに沿って苦情解決にあたっています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		毎日の連絡表やラインでのやり取り、送迎時の対面でお子様の情報を発信させていただいています。年に1回法人の機関紙を発行し、配布しています	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		契約時の個人情報使用同意書に則り個人情報保護に努めています	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		利用者様には可能な限り言葉以外の視覚的な情報提示を心がけています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	法人全体でのお祭り「れいめい祭」で地域の方達を招待しています。今年度より定期開催されます	コロナの影響で5年近く実施されなかったれいめい祭が令和6年度より再開されました
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは法人で策定していますが、保護者にも周知できるように指導訓練室にも掲示致します	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPの策定と定期研修を実施しています。年に2回避難訓練を実施しています（火災と地震）	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		利用開始時のアセスメントにおいて服薬や疾病等の状況を確認しスタッフ間で周知をしています	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		日々の日誌に個々のアレルギーが確認できるように周知しています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	令和6年4月より安全計画を策定し計画に従った支援を実施しています。具体的な部分では3列シート以上の車両に関しては閉じ込め防止の安全装置を設置しています	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	安全計画においては保護者様への周知として指導訓練室に掲示してあります	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		毎月の職員会議においてヒヤリハット、事故報告等の確認、対策を行っています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		事業所内部、外部において虐待防止研修を定期的に実施しています	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		マニュアルとして身体拘束承諾書があり、必要と思える対象者には適切な対応をして承諾を得ています		

事業所名 放課後等デイサービス サニーズマーケット

公表日 令和6年12月3日

利用児童数 令和6年12月1日 13人

回収数 10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	2				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9			1		トイレも含め車いす対応が出来るバリアフリー化をしています
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	9			1		指導訓練室の毎日の清掃と消毒を実施しています
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9			1		6か月に1回の個別支援計画のPDCA、月に1回の職員会議、ケース会議、週に1回の週間会議、毎日の日課の確認と振り返りの朝の支援会議を実施しています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10					
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	1	3		5	・なくとも良い ・公園に行った際、他児と関わっているようですが、取立ての支援なのか不明です	現在のところ積極的に他の関係機関との交流を行う予定はありません
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	3	2	4		その都度アドバイス等は行っていますが、日を改めてのペアレントトレーニングといった具体的な研修等は行っていません
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか、また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	4	2	3		保護者様からも保護者会の開催を希望するニーズが出ていないため、現状では保護者会の開催は予定していません
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9				1	保護者様より相談、問い合わせ等ありましたら、その都度必要な支援を行うよう心がけています

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	1		1	毎日の連絡表やラインでのやり取り、送迎時の対面でお子様の情報を発信させていただいています。年に1回法人の機関紙を発行し、配布しています
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7			3	業務継続計画（BCP）の策定と定期研修を実施しています。年に2回避難訓練を実施しています（火災と地震）
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	1		1	・動いている車から飛び出そうとしたのを何度か遭遇しています。 今回の件は事故報告として取り上げスタッフに対しては対策の周知徹底を行っております
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10				・事故の際、報告がきちんとされていました。他の事業所で子に寄り添わない対応をされトラウマがあったのでありがたかったです
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10				・学校の不登校になった際もサニーズさんには行くと、外に出るきっかけをもらいありがたかったです
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10				
	29	事業所の支援に満足していますか。	10				・子どもそうですが親の心の安定にもなる事業所さんだと思っています。

公表

事業所における自己評価総括表

事業所名	放課後等デイサービス サニーズマーケット		
保護者評価実施期間	令和6年 11月 7日		～ 令和6年 11月 29日
保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 10
従業者評価実施期間	令和6年 11月 7日		～ 令和6年 11月 15日
従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
事業者向け自己評価表作成日	令和6年 11月 29日		

分析結果

	事業所の強み () だと思われること より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムを固定化しないように実施している	開所当初より運動活動(粗大運動)、創作活動(微細運動)、チャレンジ活動の3つを柱に季節や天気、個々の状況に配慮しながらプログラムを実施しています	現在のチャレンジ活動に加え新たなチャレンジが出来る機会を設けられる活動を増やしていきます
2	子ども達に対して安心感をもって利用できるように配慮をおこなう(リラックス出来る居場所作り)	寛容さをモットーに支援を行っています。大人の都合の良い子どもに育てる訳ではなく、個々が自分らしくいられる場所作りを行っています。 ホッと出来る空間作りを努めています。	限られた空間ではありますが、各々の多様な特性に応じて視覚的、聴覚的な感覚過敏のお子様に対する環境作りは今後も工夫をしながら行っていきます
3	目先の課題克服のため未来設計ではなく、将来自身で自立して歩んでいくことをイメージしながら支援目標を設定しており、支援もその目標に沿っておこなっています	ケース会議において児発管と常勤スタッフにより各個人の個別支援計画の作成に携わっており、本人の最善の利益を考慮した目標設定を行っています ケース会議等において個々に応じた個別支援計画を作成し、その計画に沿って支援を実施しています	個別支援計画のモニタリングは毎月行っていますが、目標に沿った支援が出来ているかの確認は、1月で区切らずにその都度確認を行い、支援に反映させていきます

	事業所の弱み () だと思われること 事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部に対しての情報発信(特にSNSにおいて)	現在ネットにおいては三山黎明会のホームページにて自己評価や支援プログラムの記載のみでInstagram等のツールを使った情報発信を行っていない	スタッフのSNSに対してのスキルアップを行い、将来的には活用と強化を行っていく
2	家庭に対してペアレントトレーニングや研修会等の開催を行っていない また父母の会の活動立ち上げを現在まで行わず、保護者同士の交流の機会が設けられていない	ペアレントトレーニングを実施するスキルがスタッフに不足しており開催を行っていません	ペアレントトレーニングにおいては将来的には外部の講師を招いて開催することが出来るように考慮していきます 父母の会に関しては設置を望まない保護者の方も一定数いるため設置に関しては慎重にすすめていきます
3	スタッフの専門性の不足	当事業所では保育士、児童指導員といった専門職のスタッフを配置していますが、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士や精神保健福祉士等の専門スキルを持ったスタッフの配置ができていません	今後も積極的に専門性のあるスタッフの採用募集を行っていきます